

1. 計画の目的

◆ 計画の目的

- ・地域特性やまちづくりの方向性との整合を踏まえ、使いやすく魅力ある公園の再編に取り組み、地域全体で公園利活用の推進を図り、長期的に安定した維持管理を実現する。

◆ 計画の位置づけ

- ・「豊川市緑の基本計画」（令和3年3月）に即して策定

◆ 計画期間

- ・令和8年度から令和17年度までの10年間。社会情勢の変化にあわせて適宜見直し。

◆ 対象とする公園

- ・都市公園及び都市公園の見直しに付随する児童遊園、ちびっこ広場、その他緑地・広場、臨海緑地

2. 公園施設を取り巻く状況

◆ 本計画で対応すべき課題

- 既存ストックの有効活用による「質」を高める

課題1 量より質を高める公園整備

課題2 公園配置の見直し

- 変化する利用ニーズに対応した公園機能や公園の使い方の見直し

課題3 利用実態に適合した機能配置

課題4 公園が使いやすくなる柔軟な使い方への転換、利用機会づくり

- 効果的・効率的な公園整備と管理運営

課題5 更新時期にある公園の再整備

課題6 限られた財源を踏まえた整備、管理運営

課題7 公園に関わる活動団体への支援や負担軽減

3. 公園の利活用・適正化における基本的な考え方

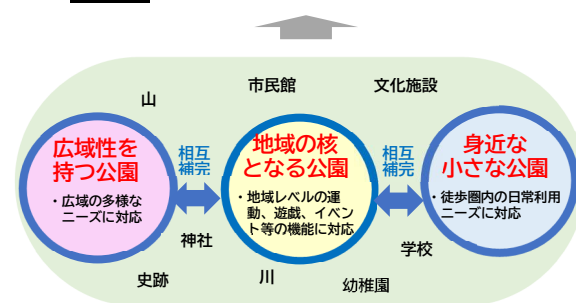
◆ 目指すべき姿

地域に愛される”暮らしの舞台”としての公園の再生

◆ 基本目標、基本方針

●基本目標

- 適正化** 持続可能な公園再編
- 利活用** 魅力ある地域の公園再編



●基本方針

- ①市域全体の公園機能の向上を図られるよう公園機能の適正な再配分を行います

[対応する主な課題]

課題1 課題2 課題3

- ②様々な人が使いやすく魅力ある公園となるように機能の向上や利活用の推進に取り組みます

[対応する主な課題]

課題1 課題2 課題3

課題4 課題7

- ③既存ストックの効果的・効率的な改修の実施や官民連携を図った柔軟な管理運営を推進します

[対応する主な課題]

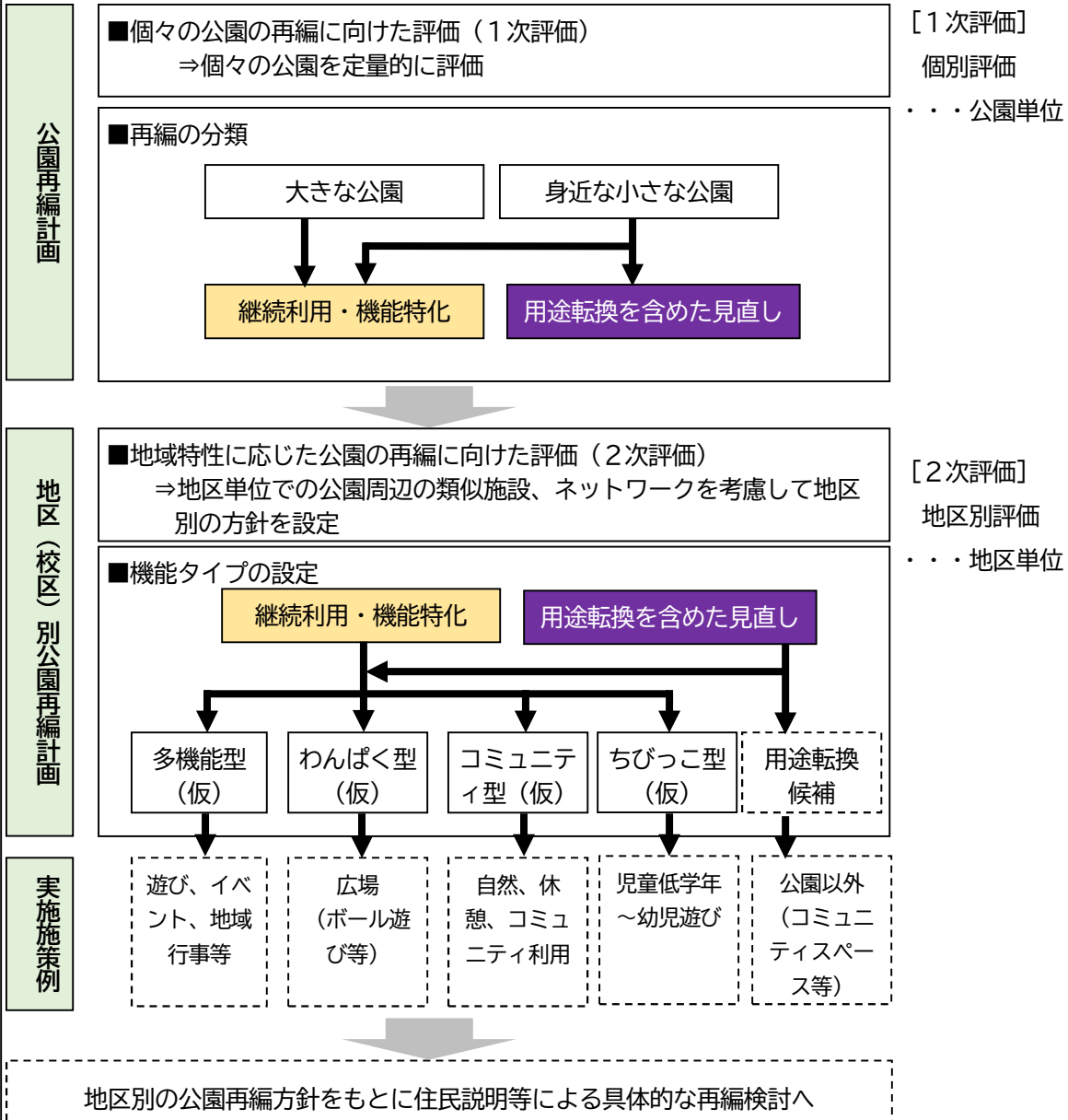
課題2 課題3 課題4

課題5 課題6 課題7

4. 公園再編計画 5. 地区（校区）別公園再編計画

●公園再編計画の考え方

- ・地区単位で公園を群(1つの居住単位)として考え、地域特性に応じて公園の機能をバランスよく配置します。

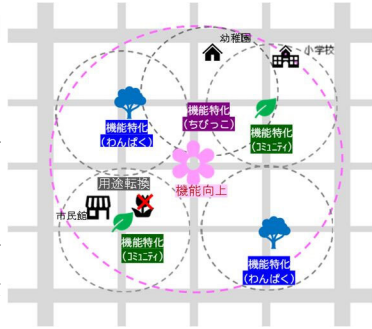


- ◆個々の公園の再編に向けた評価（1次評価）
 - ・身近な小さな公園を対象に上位計画の位置付け、公園利用状況や誘致圏重複率、規模、経過年数による指標により評価します。
 - 評価結果(身近な小さな公園を対象)
 - ・機能特化A（評価：高）
 - 現況機能の継続
 - ・機能特化B（評価：中）
 - 地区単位で役割の見直し検討
 - ・用途転換を含めた見直し(評価：低)
 - 用途転換を検討

地域特性に応じた公園再編に向けた評価（2次評価）

●地区（校区）別の公園再編の方針

- ・校区全体の公園再編の方針と公園評価により導出した再編区分、機能タイプに基づき、各公園の整備の方向性を示します。



【参考】今後の流れ

6. 公園施設等の利活用・適正化における推進方策

◆ 公園再編に関する実施施策

◆ 公園再編の重点地区プロジェクト（優先して抽出する校区）

7. 公園の利活用・適正化における推進体制

◆ 推進体制

◆ 再編パターンごとの維持管理費の低減効果の確認

◆ 計画の進行管理